



## 小さくても命は宿っているのです!

昨日の大休憩の時間、子どもたちみんなで畑にいました。小さなカエルがかわいらしくて、捕まえて遊んでいるようでした。「わたし、5匹捕まえた!」と言って誇らしげに見せてくる女の子に対して、やや複雑な気持ちでした。こんな時に「命」の話をしてもらってもわかってもらえないだろうなど。昔々はじいさんばあさん、隣のおじさんたちに、こう言われたものです。

「カエルをいじめると雨が降るぞ。」

「カエルにいたずらすると、おしっこを引っかけられるぞ。」

「カエルのしょんべんが目に入ると、目がつぶれるぞ。」

今そんなことを言われても、理不尽な、と一言で済ませるでしょうが、子どもの頃の純真な心に深くしみこんで、カエルには触らないようにしようと思ったことを思い出します。

カエルは小さな虫を食べてくれるので、農作物を守ってくれていることを昔の人は体験から知っていて、それを簡単に、しかも効果的に伝えるたとえ話をしてくれたのですね。ツボカビが伝染してカエルが全滅したら、農業被害が増したという新聞記事を読んだことがあります。ヒキガエルなんて怖い顔をしたカエルもありますが、あちらからは悪さをしません。海外から何でも食べるウシガエルを食用にしようと輸入して飼育したのは人間の勝手です。日本に昔から生息しているカエルは優しい生き物なのですから、大切にしてほしいと思うのです。しかも、生き物です。メダカの卵がふ化する不思議を見て喜んでいる皆さん、カエルさんも生きていますよ。



## もっともっとお年寄りから学ぶべき

自然のこと、天候のこと、暮らしのこと……。お年寄りは知識の宝庫です。ご自分の体験をもとにした、説得力のある言葉で知恵を授けてくれます。3世代同居の家庭の多い、このすばらしい大野の地で、お年寄りの知恵を学ばないのはもったいなさ過ぎます。実は三年計画でお年寄りから昔話や民話を収集しようとしていたのですが、断念した経緯があります。ご家庭で、若い人は何でも知っているからなんて遠慮



をなさらないで、もっともっと子どもたちにいろいろなことを教えてほしいなと思います。インターネットなんて及びもつかない、生きた知恵を身につけた子どもは心豊かに育つことでしょう。この地区の、あるおばあさんが、泣いている孫娘に語ったというこの一言は、忘れることができません。子育てだって、お年寄りは大先輩なんですから！

そんなに悲しいんだったら、ほら、このまんじゅうやっから食え！  
腹一杯にして寝ちまえば、次の日には忘れてっからな！

## お久しぶりです、校長先生の事件簿

もう何回目かは忘れたのですみません。今から15年以上前、自分にとっては最期の修学旅行引率となった時のお話です。2日目の夜、東京ディズニーリゾートで班別行動をしました。集合時刻はディズニーの閉園時間です。A子のグループはランドでエレクトリカルパレードを楽しんでいるはずでした。私はシー担当だったので、吹き上がる火山を見ながら餃子ドックをほおぼっていました。そこにA子から電話が来ました。

「先生、買い物しようとしていたらみんなとはぐれてしまいました。今、公衆電話から先生の携帯にかけています。どうしたらいいですか？」A子は泣いていました。電話で場所を確認し、出入り口への行き方を教えて、ランドの入り口で待っているからと答えたのですが、いつまでたってもA子は来ません。A子だけでなく同じグループの生徒たちも来ません。班長に持たせた携帯に電話してみると、みんなでA子を探しているとのこと。とりあえず遅いから戻ってきなさいと指示をして、A子以外は確認しました。その後、全員電車でホテルに向かいました。私は主任とA子を待っていました。これは犯罪に巻き込まれたかと思い、ランドに再入場して電話の来た場所や買い物をした場所など走り回ったのですが見つかりません。青ざめているそんなとき、シーの方から電話が来て、お宅の生徒さんを保護したのでこれからランドの入り口に連れて行くとのこと。一安心して待っていたら、すっかりしょげかえったA子が連れられて帰ってきました。どこに行っていたか聞いたら、シーとのこと。「だって先生はシーにいるって思ったんだもの。」怒るに怒れません。たくさん買ったものはすべて電話をかけた場所においてきたというので問い合わせてみましたが、当然出てくるはずはありません。泣きじゃくるA子をなだめ、園外のディズニーショップでA子の買ったものを聞きながら、同じものを自分のお金で買ってあげたのでした。(総額が、持って行っていいお小遣いの額を超えていました!)

後日、お年寄りの(すみません)教頭先生から御指導を受けました。「千葉さん、子どもがパニックになっているときに理屈語ったってダメだよ。そんなときは、そこを動かなくなって言ってあげて、迎えに行くのさ、自分の足でな。」いやあ、大変勉強になりました。

2回開いた同級会で毎回話題に上り、恥ずかしそうに笑うA子を見ながら、本当に何もなくてよかったと思う私なのでした。やはりお年寄り(?)の知恵は大切にしなければと改めて思うのです。

